



## 臨時教職員の賃金・権利、母性保護で前進 多忙解消に向けて新たな協議スタートへ!

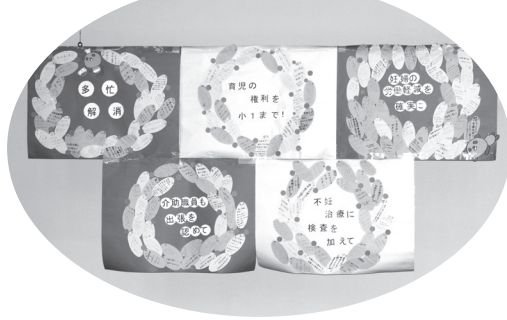
### 2019確定交渉



みなさんにご協力いただいた勤務実態アンケートで、「六人に一人が過労死ライン」という県内教職員の深刻な状況が明らかになりました。対する県教委の教員募集パンフは、実態とかけ離れた「夏休みたつぷり三〇日」。この両者の対決と、全国の労働運動が広げた「同一労働同一賃金」を

求める声、これら二つの軸を中心に、二〇一九確定交渉は展開しました。第三回交渉で、県庁職員の交渉が妥結に向かい、こちらの交渉にも急遽教育長が出席し、人勸実施とともに臨時的任用職員の給与上限撤廃が回答されました。公立学校共済への加入、社会保険の継続なども大きな成果でした。

多忙解消について、教育三者(和教組・和高校・教育庁職組)は、関係団体も含めた検討会議を設置して、具体的な計画を作成することを求めました。教育長の回答は「既存の会や関係者の意見を聞きながら計



画作成の作業を進めていくことやトーンの低いものでしたが、しかし要求実現に向けた確かな足がかりとなる回答だったと考えています。新たな協議の場の設定に向けて引き続き要求を強めます。

一月一四日の第四回交渉では、妊婦の労働軽減について、小学校教員に配置される非常勤講師を妊娠判明時から措置すること、障害児学校・学級の担当者に配置される介助職員に出張を認めることが回答されました。交渉の中で、女性部の育児休業者へのアンケートで三八%に出産困難があ

り、五人に一人が流産を経験していること、介助職員が社会見学などに行けないことなど、現場の実態を訴えたことによる成果でした。

他にもこの数年間強く要求していた初任研の宿泊研修廃止などの前進もありましたが、どの要求も、もとは職場の集まりなどでの愚痴や願いでした。ひとりでは難しくても、みんなで力を合わせれば改善、解決させることができます。こうした組合の値打ちをあらためて確かめ合い、和教組とともに大きくしていきたいでしょう。



**聞いてワンジョブ** 私の訴えをきいて下さい (2019確定交渉より)

毎年のように台風が猛威をふるい、甚大な被害がでています。夏の暑さも異常で、天気予報で最高気温三〇度ときくと、「明日は過ごしやすそう」と思ってしまう。猛烈な台風、ゲリラ豪雨、猛暑、いずれも地球温暖化がその原因だと言われています。

世界を見渡せば、あちこちで紛争が続いています。地球温暖化対策は、世界中のすべての国が協力して取り組まなければならぬ。緊急かつ重大な課題です。便利な世の中に慣れてしまっていますが、今こそ、少し不便であってもエネルギーの浪費を少なくするために世界中のみんなが考え、行動する必要があります。

よし、明日から「エレベーターではなく階段」「レジ袋はもらわずマイバッグ」を実践するぞ!

教育要求県民集会

県教委に切実な教育要求を訴えた!

和教組副執行委員長 野口 共



一〇月一八日(金)、和歌山県書道資料館にて「第五二回和歌山県教育要求県

民集会」が開催されました。このとりくみは五二回を数えるという歴史のあるもので、保護者や地域・市民団体の方々が、県教育委員会に教育要求を直接つづけるという意義深いとりく

みです。ここ数年の集会で訴えた要求について、中学校への障害児学級の新設などが実現しています。

今年度も九名の方々が、自分自身の子どもの様子などを交えながら、「定時制教育の必要性」「安心安全な給食を」「子どもたちにもっと余暇の時間を!」「不登校の児童生徒に対してあたたかい対応を!」等、県教委に対し切実な要求が語られました。

県教委の担当者も保護者の訴えを聞いて、涙ぐむ場面がある等、実感のこもった皆さんの訴えは非常に説得力のあるものでした。また、事前に文書回答をしてもらうことにより、集會自身がコンパクトになり個別の要求に対する回答もあり、非常に意義深い集會となりました。

不登校問題 懇談会 11月9日



「学校に行きたくない子は いない」に想う

民研 山野 眞



今回は海草支部の専門員をされている若橋満裕さんに不登校児童・生徒支援員としての取り組みを報告していただきました。和歌山県教育相談センターから出版された「学校に行きたくない子はいない」に書かれている受容と共感、子どもとの関わりを大切にしたい実践は学ぶことがいっぱいありました。不登校の子どもが学校に来るか来ないか、学校に来たら教室に行くのか別室に行くのかも含

めて、学校ですべてのことを本人が決めることを保障する中で主体的に育っていくことが報告されました。子どもが自分の思いを大事にして自己決定をするためには、子どもが何を言ってもいいことが認められていなければ難しいと思います。提案の中でも、子どもが岩橋先生に「いやー」と拒否している場面も何度かありました。子どもが「いやー」と言える、それを受け止める岩橋先生。こんなことの積み重ねによって信頼関係が築かれていくことが見える実践提案でした。その信頼関係によって学校は子どもにとって居場所となり、認められるという実感から自己肯定感が芽生える、そんなことを岩橋先生の報告から学びました。



挽き立てのコーヒーでリフレッシュ

# 市教組カフェ

和歌山市支部書記長 平田 秀一

先生たちの交流を目的に市教組カフェを、毎月第一金曜日の一八時～二時の間でオープンしています。売りは「挽き立てのコーヒーでリフレッシュ」です。注文を受けてから豆をひくので、少し時間はかかりますが、やっぱり味と香りは格別です。紅茶も大阪のお店から買ってきた茶葉を用意しています。少しオシャレな感じを出して、若い世代にも来てもらいたいと考え、看板をすのこで作りました。古くなってきた教育会館の内装も変えたくて、この冬の間にはプチイメチェンをしたいと思っています。

一回目は、青年部が学習会をしていましたので、学習会にコーヒー・紅茶・ジュースをサブさせていただけました。二回目は市教委交渉があったので、交渉終了後そのまま、カフェに突入して九名のお客様に

来ていただきました。緊張の交渉からみんな解放されて、たくさん話をされ、リラックスできていました。忙しい毎日ですが、毎月第一金曜日の一八時からホッと一息ついて、気持ちを取りセットしていただけた

らと思えます。他都市の方も、大歓迎です。たまにたま近くに来たときは寄ってください。市教組カフェの時間でもなくても、コーヒー・紅茶を飲みに来てください。お待ちしております。

られる社会にむけて「今教育が果たす役割とは」をテーマに講演があります。ラジオのレギュラー番組でもお馴染みですが、今回もマイク一本で世の中の困りごと、教育に期待すること等を軽快にしゃべってくださいます。



相談してきます。

一日目全体会には法学

者、「おばちゃん党」代表

代行、ラグビーフットボー

ル協会の理事という多彩な

顔をもつ谷口真由美さんを

講師に迎えます。

『誰もが自分らしく生き



清流太鼓 かなや伝々

一日目分科会にむけて、各支部でも支部教研でレポートを練り、サークル活動のとりくみを持ち寄り、分会でも事前学習会を開いているところもあります。

子どもがいじめや自殺に関して、学校の対応に疑問がもたれることも多く、神戸で起きた事象でも、教員の質が問われています。「変だな」「おかしいな」と思ったこと等、何でも話できるのがこの教研です。

学校では皆が忙しそう、声をかけるのも遠慮してしまつ、という声もありませんが、お誘いを待ってる人もいますか?!

## 「未来をひらく教育のつどい」は有田



私の

# ホットメニュー&勝負メン

## 10 バーベキュー



### たき火と炭火

和歌山市支部書記長 平田 秀一

うちのキッチンは一Hコンロです。IHはいいとこもいっぱいあるのですが、やっぱり直火とかがいます。庭にドラム缶風呂を設置したので、湯を沸かすためにまきを燃やします。お湯を

沸かすだけではもったいないので、さつまいもやカボチャをアルミホイルに包んで一緒に火の中へ入れます。三〇分ほどでやきいも・やきかぼちゃのできあがりです。味付けは何もしていないのに、その甘さに驚きです。しかも体の中からホカホカして温まります。お風呂でも温泉のように体が芯から温まって、その日の夜はぐっすり寝れます。昔の生活は手間がかかったりして大変ですが、便利さと引き換えに失ったものが、こんなところにもあるのかと気づかされました。

もう一つ我が家では、週末に炭火でバーベキューや魚を焼きます。美味しく焼けます。油が落ちて食べやすいし、肉の味もしっかりと感じることが出来ます。ホットプレートとは別の料理かと思っほごです。

魚はふんわりと焼き上がり、炭の香ばしさもあって、魚の味がグツと引き出されているように感じます。焼いてるときに油が落ちてジューと鳴る音や焼けるにおいやけむりさえも食欲をそそり、これらから食べる楽しさやよろこびを増してくれるように思います。

興味本位で始めたたき火や炭火は、ガスや電気で育った私に、昔より今が良くなっていると思いが込んでいけないよと、やさしく教えてくれました。

2020年 和教組女性部

# 新春のつどい

毎年恒例の新春のつどいです。和やかに、ゆったりとした気持ちで一年のスタートをきりませんか?学習して、おしゃべりして、美味しいものをいただいて、参加しないと損!?!つどいです。

スイーツ&飲み物を用意しています!

日時 2020年 **1月11日(土)**  
和歌山市北コミュニティセンター  
(さんさんセンターきのかわ)

\*文化行事  
和教組女性部T・Tシスターズプレゼンツ  
詩の朗読他...お楽しみに!  
\*安西美樹氏 (LGBTと愉快な仲間たち代表)  
「自分が自分らしく生きる為に」

12月20日(金)締め切り 073-423-2261

安心と信頼

# 教職員のための『教弘保険』



(株)和歌山教弘

提携会社: ジブラルタ生命保険株式会社

■和歌山第一営業所 073-421-8250 ■和歌山第二営業所 073-421-8250 ■和歌山第三営業所 073-421-8250  
■橋本営業所 0736-33-1620 ■田辺営業所 0739-22-5751 ■新宮営業所 0735-22-0101